

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日 ~ 2026年 3月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日 ~ 2026年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者人数に対しての職員の配置数	児童の状態や状況に応じて、個別の対応や集団でのカリキュラムを組むことが出来ている	コミュニケーションを図る中で、要望や意見をくみ取れるような場所と時間を設ける。
2	学校や役場、相談支援事業所との連携	情報提供や担当者会議の迅速に対応できている	必要な際に事業所主体となつての担当者会議などの開催
3	保護者と、児童の状況や課題を共通理解できている	保護者のお迎え時や、自宅への送迎時に話が出来る時間を持つことが出来ている 保護者の希望がある際には迅速に面談や話し合いなどを行っている	活動日誌以外にも連絡ノートの活用や、line、メールを使って状況報告していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童の学年が上がってきて活動スペースが狭く感じる時もある	利用人数の増加や、児童が成長し体格が徐々に大きくなってきたこと	家具の配置換え、物品の片付けや移動を行うなど、活動に応じて変えられるような収納具を利用していく。 活動内容や利用人数に応じて、公共施設等の利用を増やしていく
2	スタッフ全員で支援前後の伝達や、打ち合わせが出来ない時もある	非常勤職員の勤務時間や日数にバラつきがある	出勤時間等の調整をしながら時間を確保していく グループチャットなどの利用していく
3	学習支援の中で、現在学校で行われているカリキュラムや、問題の解き方等の教師との共有	お迎え時間に先生と情報共有する時間があまり取れていない	学校の先生と今以上に情報共有を図る 学校との間で学習支援に特化した情報伝達や話し合いの場を持つ